

科 目 名	ゼミナールⅠ・Ⅱ	備 考
単 位 数	2 + 2 単位	

金 基 弘

音響制作・音響測定・音響実験

1. 講義内容

本ゼミでは、音響コンテンツの制作方法および研究方法について、音響制作や音響測定、音響実験を通して深く学ぶ。ゼミナールⅠでは、ラジオCMの制作や楽器音、環境音などの收音や編集・加工などを通して、音響コンテンツ制作における「音」の表現術を身に付ける。また、ゼミナールⅡでは、4年次に取り組む卒業研究（論文作成又は作品制作）のため、音響測定や音響実験などを通して音を研究するための多角的な知識を身につける。

2. 到達目標

音響制作や音響測定、音響実験を通して「音」に対する理解を深め、音のプロフェッショナルとしての実践的な技術と知識を培うことを目標とする。

3. 関連科目

プレゼミナールⅢ、プレゼミナールⅣ、サウンドデザイン論、音響メディア論、音響制作実習、サウンドデザイン演習、音楽情報処理演習

4. テキスト・参考書等

【テ】適宜、資料を配布する。

【参】日本音楽スタジオ協会（編）：“サウンドレコーディング技術概論 改正版”，兼六館出版社，2007.

【参】S. A. Alten（著）：“Audio in Media” Wadsworth Pub Co., 2010.

【参】日本音響学会（編）：“音の評価のための心理学的測定法”，コロナ社，1998.

5. 授業外における学習方法

良い音の収録方法を検討して実行すること。科学的な思考力・表現力を高めていくこと。

6. 成績評価方法

ゼミへの参加態度（50%）、及び成果物や実験レポート（50%）により成績を評価する。

春学期授業計画		秋学期授業計画	
第1回	ガイダンス	第1回	音の評価Ⅰーガイダンスー
第2回	録音の基礎Ⅰーマイクロホンとケーブルー	第2回	環境音の測定
第3回	録音の基礎Ⅱーデジタル・レコーダーー	第3回	測定データの分析
第4回	録音の基礎Ⅲーミキシング・コンソルー	第4回	まとめと考察
第5回	録音テクニックⅠーシングルマイク收音ー	第5回	レポート作成と提出（1）
第6回	録音テクニックⅡーペアマイク收音ー	第6回	音の評価Ⅱーガイダンスー
第7回	録音課題Ⅰー音声（現場レポーター）ー	第7回	サイン音の評価
第8回	録音課題Ⅱー楽器音（ピアノ）ー	第8回	評価データの分析
第9回	録音課題Ⅲー楽器音（ギター）ー	第9回	まとめと考察
第10回	録音課題Ⅳー環境音（蝉時雨）ー	第10回	レポート作成と提出（2）
第11回	ラジオCM制作Ⅰー企画・構成ー	第11回	音の評価Ⅲーガイダンスー
第12回	ラジオCM制作Ⅱースタジオリハーサルー	第12回	音と映像の調和感測定
第13回	ラジオCM制作Ⅲースタジオ収録ー	第13回	測定データの分析
第14回	ラジオCM制作Ⅳー編集・仕上げー	第14回	まとめと考察
第15回	講評とまとめ	第15回	レポート作成と提出（3）